

Chorus Oh yama 10<sup>th</sup> anniversary

# 10周年記念演奏会

～メサイアを歌う～



合唱団おおやま

with オーケストラ・アンサンブル金沢

と き / 2005年8月28日(日) 13時30分《開場》 14時《開演》

ところ / 富山市大山文化会館ホール

主催 / 富山市・富山市教育委員会・合唱団おおやま・(財)石川県音楽文化振興事業団 共催 / 北日本新聞社 後援 / FMとやま



1 モーツァルト

歌劇「ドン・ジョヴァンニ」  
序曲K527  
(オーケストラ)

この序曲は、初演の前日に4時間で書き上げたという、モーツァルトの天才を示すエピソードを持つ。

歌劇は、ドン・ファン伝説に基づき、ドン・ジョヴァンニの放蕩とその罰としての地獄落ちを描いている。

序曲は、石像がドン・ジョヴァンニ邸を訪れる場面(主人公はこの後、石像に地獄へ引きずりこまれることになる)で演奏される重々しい音楽で始まり、モルト・アレグロの主部では、ドン・ジョヴァンニの女性遍歴を暗示するような活動的な音楽が流れる。

2 シューベルト

セレナーデ  
(名古屋木実&合唱団)

シューベルトが死の年(1828)に書いた曲を集めた歌曲集「白鳥の歌」の第4曲。「セレナーデ」は「小夜曲」と訳される。夜、恋人の窓辺で歌われる恋の歌である。

3 メンデルスゾーン

歌のつばさに  
(合唱団)

メンデルスゾーン(1809-1847)が1835年にドイツの詩人ハイネの詩に載せて書いた有名な歌曲。軽やかで美しい旋律が多くの人に愛されている曲である。

4 シュトラウス

美しく青きドナウ  
(合唱団)

ワルツ王ヨハン・シュトラウスII世の代表作(1867)。ウィーンフィルのアンコールの定番で、ウィーン市民には第2の国歌となっている。現在はオーケストラのみで演奏されることが多い曲であるが、元々は男声合唱用に作られた曲である。

ヘンデル

メサイア

第1部 1—序曲(オーケストラ)  
Sinfonia

- 2—合唱  
And the glory of the Load
- 3—合唱  
And He shall purify the sons of Levi
- 4—合唱  
For unto us a Child is born
- 5—田園交響曲(オーケストラ)  
Pastoral Symphony
- 6—合唱  
Glory to God in the highest
- 7—アリア(ソプラノ)  
Rejoice greatly,O daughter of Zion!
- 8—合唱  
His yoke is easy

第2部 9—合唱

- Behold the Lamb of God
- 10—合唱  
Surely He hath borne our griefs
- 11—合唱  
And with His stripes are we healed
- 12—合唱  
All we like sheep have gone astray
- 13—合唱  
He trusted in God that He would deliver Him
- 14—合唱  
Lift up your heads,O ye gates
- 15—合唱  
The Lord gave the word
- 16—アリア(ソプラノ)  
How beautiful are the feet of them

17—合唱

- Their sound is gone out into all lands
- 18—合唱  
Let us break their bonds asunder
- 19—合唱  
Hallelujah!

第3部

- 20—合唱  
Since by man came death
- 21—合唱  
Worthy is the Lamb  
Blessing,and honour,Amen



オラトリオ「メサイア」は、1741年、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685~1759)が、ロンドンにおいて作曲し、翌1742年、アイルランドの首都ダブリンにおける慈善演奏会で初演された。

「メサイア」とは、ヘブライ語の「メシア」の英語読みで「聖油を注がれた者」、すなわち「救世主」(=キリスト)の意味である。この台本は、ヘンデルの友人であるチャールズ・ジェネズが、主に旧約聖書の預言と詩篇、および新約聖書の使徒書簡から選び出した聖句を編纂したものである。「メサイア」は3部から成り、第1部は救世主(メサイア)の来臨によって、世の救いが成就するという旧約の預言と、その神の計画の実現、第2部は、イエスという犠牲による救いの成就と、それを拒否する人間の罪の姿、第3部は、イエスの復活と、それによってもたされた永遠の生命に対する感謝と賛美を表している。

全編のクライマックスは、やはり、第2部の終曲である「ハレルヤ・コーラス」であろう。初演後のロンドンでの演奏会で、時の国王ジョージ2世が、ハレルヤに感動のあまり起立して聞いたことはあまりに有名な故事である。

全編53曲のうち、今回は合唱曲を中心に21曲をお届けする。クリスマスの頃に演奏されることが多い「メサイア」だが、今日は(8月のメサイア)で心地よい夏のひとときをお過ごしください。  
**Glory to God in the highest,and peace on earth,goodwill towards men!** いと高きところには神に栄光あれ、地には御心に適う人に平和あれ。

●10年の歴史

開催期日	8月6日	8月25日	7月27日	8月30日	9月26日	7月30日	8月26日
演奏会名	合唱団結団式	合唱団「おおやま」メサイアを歌う	合唱団「おおやま」メサイアを歌う	合唱団おおやま メサイアを歌う	合唱団おおやま メサイアを歌う	合唱団おおやま メサイアを歌う	合唱団おおやま 日本の夏・大山の夏 withオーケストラ・アンサンブル金沢
曲目		パーセル 歌劇「妖精の女王」組曲 ヘンデル 「メサイア」	ヘンデル 「メサイア」	ヘンデル 「メサイア」	ヘンデル 「メサイア」	ヘンデル 「メサイア」	日本の夏を歌う 編曲 榊原 ベートーベン「ロマンス」「メ モーツァルト 「戴冠式ミサ」
指揮者		本名 徹二	本名 徹次	増井 信貴	増井 信貴	増井 信貴	ゲアノート・シュマルプ
オーケストラ		オーケストラ・アンサンブル金沢	桐朋アカデミー・オーケストラ	オーケストラ・アンサンブル金沢	オーケストラ・アンサンブル金沢	オーケストラ・アンサンブル金沢	オーケストラ・アンサンブル金沢
ソプラノ		金川 睦美	村上 育子	加藤 與志子	金川 睦美	名古屋 木実	大前 さち子
アルト		中田 勝代	碓井 智子	中田 勝代	中田 勝代	在田 恭子	碓井 智子
テノール		森清 篤実	黒崎 隆憲	下村 雅人	森清 篤実	黒崎 隆憲	森清 篤実
バス		森野 信生	森野 信生	内山 太一	森野 信生	内山 太一	内山 太一

1995 (H7)

1996 (H8)

1997 (H9)

1998 (H10)

1999 (H11)

2000 (H12)

2001 (H13)

彩りとやま緑化祭 大山町の日出演  
8月31日(高岡おとぎの森公園)

モスクワ少年少女合唱団と共演  
7月25日(大山町民文化会館)

ヘルシンキ大聖堂 少年聖歌隊と共演  
12月9日(大山町民文化会館)

●その他 演奏会



- ラ)  
the Load  
ify the sons of Levi  
ild is born  
-ケストラ)  
ny  
he highest  
daughter of Zion!
- 第2部
- 9—合唱  
Behold the Lamb of God
- 10—合唱  
Surely He hath borne our griefs
- 11—合唱  
And with His stripes are we healed
- 12—合唱  
All we like sheep have gone astray
- 13—合唱  
He trusted in God that He would deliver Him
- 14—合唱  
Lift up your heads, O ye gates
- 15—合唱  
The Lord gave the word
- 16—アリア(ソプラノ)  
How beautiful are the feet of them

- 17—合唱  
Their sound is gone out into all lands
- 18—合唱  
Let us break their bonds asunder
- 19—合唱  
Hallelujah!
- 第3部
- 20—合唱  
Since by man came death
- 21—合唱  
Worthy is the Lamb  
Blessing, and honour, Amen



1741年、ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル(1685~1759)が、ロンドンにおいて作曲し、翌1742年、おける慈善演奏会で初演された。

の「メシア」の英語読みで「聖油を注がれた者」、すなわち「救世主」(=キリスト)の意味である。この台本は、ヘンデルのメソッドが、主に旧約聖書の預言と詩篇、および新約聖書の使徒書簡から選り出された聖句を編纂したものである。「メサイア」(メサイア)の来臨によって、世の救いが成就するという旧約の預言と、その神の計画の実現、第2部は、イエスという犠牲をなす人間の罪の姿、第3部は、イエスの復活と、それによってもたされた永遠の生命に対する感謝と賛美を表している。つまり、第2部の終曲である「ハレルヤ・コーラス」であろう。初演後のロンドンでの演奏会で、時の国王ジョージ2世が、ハレルヤを聴いたことはあまりに有名な故事である。

本曲を中心に21曲をお届けする。クリスマスの頃に演奏されることが多い「メサイア」だが、今日は[8月のメサイア]で心地よい夏のひとときをお過ごしください。  
Highest, and peace on earth, goodwill towards men! いと高きところには神に栄光あれ、地には御心に適う人に平和あれ。



指揮者  
増井 信貴

開会式での「第九」演奏会においては、合唱とオーケストラをまとめる指揮者の一人として演奏に携わった。得意とするオペラではこれまでにドニゼッティ「イル・カンパネッロ」の日本初演などを指揮。またNHKテレビへの出演やサイトウ・キネン・オーケストラのヨーロッパ公演に副指揮者として参加するなど、シンフォニー、オペラの両面で精力的な活動を続けている。現在、京都市立芸術大学教授。

## Nobutaka Masui

桐朋学園大学指揮科卒業。岡部守弘、斎藤秀雄、小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明、F.フェラーラ、L.バーンスタインに師事。1978年タンゲルウッド音楽祭にスカラシップコンダクターとして参加。82年パリ・オペラ座でオペラ上演に関わりつつ研鑽を積む。また89年文化庁派遣在外研修員としてバイエルン国立歌劇場に留学し、ウォルフガング・サヴァリッシュ氏の助手として数多くのオペラ上演に参加した。

89年群馬交響楽団の指揮者に就任。91年ウィーン木管アンサンブルと共演し、その様子はウィーンフィル創立150周年記念ドキュメンタリー番組「ウィーンはいつまでもかわらない」に取り上げられ、全世界で放送された。

97年11月、ロストロポーヴィチ指揮、新日本フィル定期演奏会で、プリテン「戦争レクイエム」の小オーケストラの指揮を務めた。また、98年冬季長野オリンピック

## Konomi Nagoya



ソリスト 名古屋 木実(ソプラノ)

桐朋学園大学声楽科卒業。ミラノに留学、ロゼッタ・ノーリ女史に師事。帰国後、ザルツブルグ音楽祭参加作品NHKテレビオペラ「山のちから」(柴田南雄作曲)の百合姫役に抜擢されると同時に、日生オペラ「魔笛」のパミーナ役で本格的デビュー。その後、二期会40周年記念公演「リゴレット」のジルダ、日生オペラ「セヴィリアの理髪師」のロジーナ、新国立劇場において「フィガロの結婚」のスザンナ、「ヘンデルとグレーテル」のグレーテル他、数々のオペラに出演し好評を博す。

コンサートでは、NHK交響楽団をはじめ主要オーケストラの定期演奏会や、バイヤール室内管弦楽団日本公演のソリスト、J・シュトラウス「春の声」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ベートーベン「第九」、マーラー「交響曲8番」など数多く出演。またモーツァルト「モテット」、ヘンデル「メサイア」、バッハ「クリスマスオラトリオ」、ハイドン「四季」など、宗教曲のソリストとしても高い評価を得ている。

浜離宮朝日ホールクリスマスコンサートのシリーズ物も手掛け、2002年にはサントリーホールで、二期会50周年記念におけるリサイタルを行った。

「題名のない音楽会」「名曲アルバム」などテレビ出演も多く、幅広いレパートリーで多才ぶりを発揮している。桐朋学園大学講師、二期会会員。

8月30日	9月26日	7月30日	8月26日	9月1日	8月31日	8月29日
合唱団おおやま メサイアを歌う	合唱団おおやま メサイアを歌う	合唱団おおやま メサイアを歌う	合唱団おおやま 日本の夏・大山の夏 withオーケストラ・アンサンブル金沢	合唱団おおやま ~モーツァルト「レクイエム」&世界の歌メドレー~ withオーケストラ・アンサンブル金沢	合唱団おおやま フォーレ「レクイエム」&宮崎駿の世界 with富山カンマーフィルハーモニー・オーケストラ	合唱団おおやま withオーケストラ・アンサンブル金沢 ~癒しの風をあなたに~
ヘンデル 「メサイア」	ヘンデル 「メサイア」	ヘンデル 「メサイア」	日本の夏を歌う 編曲 榊原 栄 ベートーベン「ロマンス」「メヌエット」「運命」 モーツァルト 「戴冠式ミサ」	世界の歌 編曲 榊原 栄 モーツァルト 「レクイエム」	宮崎駿の世界 編曲 常楽 明男・丸山 嘉夫 ラヴェル 「クーブランの墓」 フォーレ 「レクイエム」	ジョン・ラター 「レクイエム」 プリテン 「シンフル・シンフォニー」 三善 晃 編曲 「唱歌の四季」
増井 信貴	増井 信貴	増井 信貴	ゲアノート・シュマルプス	山下 一史	吉川 英貴	山下 一史
オーケストラ・アンサンブル金沢	オーケストラ・アンサンブル金沢	オーケストラ・アンサンブル金沢	オーケストラ・アンサンブル金沢	オーケストラ・アンサンブル金沢	富山カンマーフィルハーモニー・オーケストラ	オーケストラ・アンサンブル金沢
加藤 與志子	金川 睦美	名古屋 木実	大前 さち子	堀 裕美子	金川 睦美	村上 育子
中田 勝代	中田 勝代	在田 恭子	碓井 智子	中田 勝代		
下村 雅人	森清 篤実	黒崎 隆憲	森清 篤実	黒崎 隆憲		
内山 太一	森野 信生	内山 太一	内山 太一	内山 太一	内山 太一	
1998 (H10)	1999 (H11)	2000 (H12)	2001 (H13)	2002 (H14)	2003 (H15)	2004 (H16)
	モスクワ少年少女合唱団と共演 7月25日(大山町民文化会館)	ヘルシンキ大聖堂 少年聖歌隊と共演 12月9日(大山町民文化会館)			NHKチャリティクリスマスファミリーコンサート 12月20日(大山町民文化会館)	



合唱団おおやま  
Chorus  
Ohyama



# おかげさまで10周年。

95年8月に旧大山町民を中心に結成。96年8月に第1回の「夏のメサイア」を公演。  
以来、毎年夏にオーケストラとの共演による公演を重ね、今回が10回目の公演である。  
オーケストラ・アンサンブル金沢とは8回目の共演。  
富山市大山文化会館で、毎週水曜日夜、練習を行っている。

## 10年の歴史

## Chorus Ohyama 合唱団おおやま

ソプラノ  
伊井乃里子 / 板直子 / 岩竹幸絵 / 岡本紀子 / 加藤一美 / 木村まゆみ  
河内山佐奈江 / 坂口佳子 / 谷崎千鶴 / 谷崎千紗 / 谷本真理子 / 千葉多恵  
中川律子 / 松井千代美 / 宮原百合子 / 山本留美華

アルト  
麻島利子 / 石場智子 / 稲垣聖子 / 井上澄子 / 奥野知子  
片山美富里 / 小泉康子 / 新村まゆみ / 高木茂子 / 仲井葉子  
長原啓子 / 早水淑子 / 平崎康子 / 村橋伸子

テノール  
谷崎修一 / 東海廉之 / 東福光晴 / 土山治男 / 山本哲也

バス  
石動孝一 / 大磯覚昌 / 窪田英史 / 小塩靖 / 中村論  
野入豊光 / 野尻芳邦 / 松井輝 / 丸山隆 / 宮元美信

### 合唱指揮 内山 太一

武蔵野音楽大学声楽科卒業。ミュンヘン国立音楽大学卒業。  
シューベルトの三大歌曲集「冬の旅」「美しき水車小屋の娘」「白鳥の歌」等のドイツ歌曲のリサイタルを数多く開催。  
藤原歌劇団公演のオペラや、「メサイア」、ベートーヴェン「第九」等、数多くのコンサートに出演。NHKFM等ラジオ、テレビにも出演。1993年再度1年間ドイツに留学。合唱団おおやま、入善混声合唱団、コスモホール少年少女合唱団「くびと」、上市町子供の城児童合唱団、等の指導。  
元武蔵野音楽大学声楽科講師。元洗足学園魚津短期大学声楽科講師。富山福祉短期大学講師。大地の会主宰。

### コレペティトゥア 板直子

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。山崎道子、三津橋文子、森山ゆり子諸氏に師事。1993年より板直子&長崎裕子アンコール・プリュピアノデュオコンサート(第1回~第4回)を開催。  
1994年、第2回国際ピアノデュオコンクール(於東京)本選出場、入選。その他、むさしの会市民ホールコンサート、黒部名水の里第九コンサート等に出演。また、声楽や器楽の伴奏も行う。現在、(株)開進堂楽器音楽教室ピアノ講師、国際ピアノデュオ協会会員、富山県ピアノ指導者協会会員、アンコール・プリュ主宰。

## Orchestra Ensemble Kanazawa オーケストラ・アンサンブル金沢



1988年、音楽監督に岩城宏之氏を迎え、日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。世界中よりメンバーを公募し、多くの外国人を含む40名が在籍。2001年に開館した石川県立音楽堂を本拠地とし金沢はもとより東京・大阪・名古屋でも定期的に公演を開催し、これまでにヨーロッパ、アジア諸国を含む10度の海外公演を成功させている。2005年7月にはドイツ最大の音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭に招聘され、高い評価を得た。また、設立時よりコンポーザー・イン・レジダンスを実施し現代音楽も積極的に演奏している。03年よりワーナーミュージック・ジャパンとの提携によるCDを次々と発表するなど、数多くのCDを制作。常に意欲的な活動を続け、国内外で注目されているオーケストラである。(2005年8月現在)